

提出 順番	No. 4	平成 24 年 9 月 3 日 (午前) 午後 10 時 30 分受領
----------	----------	--

平成 24 年 9 月 3 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員

岡本真利子



## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
防災計画の見直しに係る課題について	<p>未曾有の大災害と言われた東日本大震災から一年半が経ちます。平成 24 年 6 月の警視庁の発表で、死者 1 万 5861 人行方不明者 2 千 939 人。また、東日本大震災復興対策本部の調べで、全国の避難者は約 33 万 5 千人に上ります。</p> <p>また、8 月 29 日には内閣府から南海トラフ巨大地震が発生した場合、関東以西の 30 都府県で最大 32 万 3 千人が、死亡するとの被害想定が発表されました。その 4 日前には十勝地方南部を震源とし幕別忠類地区で震度 5 弱、本町地区で震度 3 の地震が発生しました。幸いにも大きな被害もなく胸をなでおろすとともに、私たちが事前に来る事、しなければならぬ事は何かを、少しでも明らかにしていきたいとの思いで、質問させていただきます。</p> <p>① 現在の幕別地域防災計画は平成 19 年 8 月に、防災対応マニュアルは平成 21 年 3 月に改訂されたもので、今、さらに、見直しの作業が進められていることと思いますが、見直しの完成はいつになるのかをお伺いします。</p> <p>② 地域防災計画の策定において防災会議の委員の構成について我が党の全国の女性地方議員と連携し自治体の防災行政総点検を行いました。もちろん幕別町にも協力をいただきましたが、防災会議委員 23 名、全員が男性であり、女性が一人も登用されておられません。防災には女性の視点が不可欠であります。防災会議に女性の登用を検討し女性委員の参画についてお伺いします。</p> <p>③ 自然災害に備え、防災、減災に欠くことのできない共助</p>

の要となる自主防災組織。本町としても組織設立にかかる経費 10 万円限度に全額助成、活動交付金制度を創設して力を尽くしているところではありますが、平成 24 年現在設置率は 33.9%、決して高い数字ではありませんが、前年より微小に増加しています。自主防災組織の出前講座の推進においてどのように努力がなされているのか。

そして町民の防災意識向上のために HUG (ハグ) を使った防災訓練、避難所一泊訓練、冬季訓練の実施をすべきと考えますが見解をお伺いします。

- ④本町において災害が発生した場合「町民の生命、身体、財産を災害から守る」という責務を果たすため職員の防災に関する知識、意識向上、日頃からの訓練等を通じた教育はどのようにされているのかお伺いします。